

芸術振

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議
通巻第132号 2012（平成24）年1月25日発行

第13回大分県民芸術文化祭開幕行事

「大分ロシア友好交流バレエ公演 くるみ割り人形 全幕 オーケストラ付き」



平成23年9月25日(日) 18:00～
iichikoグランシアタ

振付演出にロシアボリショイ劇場バレエ団ゲオルギー・ガラスキン氏、指揮者に同管弦楽団アレクセイ・ボゴラッド氏ほか特別ゲストとしてソリスト3名を招聘して開催。初めての地元オーケストラの演奏でおおいた洋舞連盟のみなさんが舞台を務めました。

平成24年度 芸振文化事業

「星野富弘 花の詩画展」

—東日本大震災復興応援—

会 期：平成24年5月17日(木)～29日(火)

会 場：トキハ本店 8F南催し場

主 催：大分県芸術文化振興会議

共 催：大分合同新聞社、(株)トキハ

平成24年度の芸振文化事業は星野富弘氏の花の詩画展を開催します。皆さんご周知のように、星野氏は事故により手足の自由を失ってから、口で筆をくわえて制作活動を始め、故郷の自然を題材とした数々の絵画作品を発表されています。今回の大分での開催は、長年の芸振の活動にご賛同いただき、実現したものです。この機会に会員はじめ多くの県民の方に足をお運びいただき、小さな生命に向けたやさしい眼差しに満ちた氏の世界に触れていただければと思います。

また今回の事業は、例年の開催趣旨に加え、先の東日本大震災で被害に遭われた地域の芸術文化活動の支援として考えております。会員の皆さんのご協力をお願いいたします。

星野富弘氏プロフィール

- 1946年 群馬県勢多郡東村に生まれる。
- 1970年 群馬大学卒業。中学校の教諭になるがクラブ活動の指導中頸髄を損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 群馬大学病院入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。
- 1979年 入院中、前橋で最初の作品展を開く。退院。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」。以後、全国各地で開かれる詩画展は、大きな感動を呼び現在も続いている。
- 1991年 群馬県勢多郡東村に村立富弘美術館開館。ブラジル各都市で「花の詩画展」、現在も継続中。
- 1994～2004年 ニューヨーク、ハワイ、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ワルシャワで「花の詩画展」。
- 2010年 11月、富弘美術館の入館者600万人を超える。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中
作品は数多くの教科書に掲載されており、合唱曲集、歌曲集、CDにもなっている。



東日本大震災への義援金寄せられる

芸振では、東日本大震災の被災者支援のための募金活動を実施しています。これまでに「芸振総会」、「文化を語る夕べ」や関連の文化行事での募金活動を行うほか、会員からも義援金が寄せられています。

これまでに「おおいた演劇の会」「大分歌人クラブ」から事業や会員による義援金をお預かりしています。

さらに10月24日(月)、「大分市芸能まわり舞台実行委員会」の松井猛委員長さんらが、「伝統芸能で大分から“まごころ”を届けよう！」の益金40万円を渡辺恭英理事長に手渡しました。

この活動は、3年を目処につづけます。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。



お存じですか？

平成23年10月、大分県民芸術文化祭のホームページが生まれ変わりました!!

新ホームページに募集のお知らせや要項など文化祭実行委員会からの情報をご覧になれるほか、様式はPDFとWord、Excelで取り出せ、そのまま使用いただけるようになっています。

また、文化行事や文化団体のデータベースからの検索ができるようになっていますので、ご利用ください。

第13回大分県民芸術文化祭は終了しております。第14回(平成24年)の募集は3月頃お知らせの予定です。

▶ 芸振のホームページは2月中旬に公開を予定しています ◀



新大分県立美術館

新大分県立美術館の設計者が(株)坂茂建築設計(東京都)の平賀信孝氏に決定いたしました。

選考は11月30日(水)、iichiko音の泉ホール、応募者152名の中から選出された6名による公開プレゼンテーションの後、行われました。

次点者は株式会社遠藤秀平建築研究所(大阪府)遠藤秀平氏。

最優秀者 公開プレゼンテーション参考資料

株式会社坂茂建築設計代表作品(所在地・用途・完成年月)

- ・ ボンビドー・センター・メス
(フランス国メス市・美術館・平成22年4月)
- ・ 成蹊大学情報図書館
(東京都武蔵野市・図書館・平成18年6月)
- ・ ノマディック美術館東京
(東京都江東区・仮設美術館・平成18年12月)
- ・ ニコラス・G・ハイエクセンター
(東京都中央区・店舗本社ビル・平成19年4月)

詳細は下記URLでご覧になれます。

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10950/bijutsukan-sekkeisyakekka.html>

第13回 大分県民芸術文化祭

第13回大分県民芸術文化祭は9月から12月に実施された参加行事168、開幕行事ほかの主
催共催行事33、合わせて201行事のみなさんにご参加いただき終了いたしました。

ただいま記録集を作成中、団体会員の皆さんにはお送りいたします。

機関紙芸振では、行事の一部をご紹介します。(開幕行事はP1)

実行委員会行事

新進気鋭の書作家「大分の若い風」展

平成23年11月22～27日 大分県立芸術会館第3室

若手の書作家24名による作品展。

書道界では師風や社中の枠を超える展覧会は少ない。今展は、古典の発掘、現代的表現の臨
書作品、前衛作品、書の立体化など、新しい分野の思い切った大作の作品展となりました。



閉幕行事

主催／大分市民合唱団ウステリアコール 大分県民芸術文化祭実行委員会

大分市民合唱団ウステリアコール創立60周年記念 ヘンデル「メサイア」特別演奏会





ジャンル別行事 主催／大分県傘川柳連合会

第43回 大分県川柳大会 第6回 ジュニア川柳大会

ジャンル別行事 主催／大分県民謡研究会 萬謡會

萬謡會創立55周年記念公演 (財)日本民謡協会加入8周年記念 大分県民謡リサイタル「郷土の民謡 ひたすらに55年」



若者行事 主催／竹田アートカルチャー実行委員会

竹田アートカルチャー2010

竹田市街地の空き店舗やギャラリーを利用して、美術展、コンサート、ワークショップ、交流会などを開催。写真はザ・キャビンカンパニーによる創作ワークショップでようかいお面を作る子どもたち。

このあと参加者みんなは、お面をかぶって町にハロウィンの行列に繰り出した。



平成23年度 総会報告

平成23年度通常総会は平成23年6月14日(火)15:00～、大分第一ホテル8F九重の間で開催された。出席者は委任状を含め184名、定款に定める〔正会員総数〕298名(団体会員158名・個人会員140名)の1/2を満たし成立した。議長には大分県書写書道指導者連合会会

長の樋口紫水氏を、議事録署名人として大分県日本舞踊連盟の橋手良次(花柳笹良志)氏、大分オペラカンパニーの野村高子氏の2名を選任した。協議は、第1号議案平成22年度事業報告と第2号議案平成22年度決算報告及び監査報告を一括審議し、平成22年度の事業は演奏者等紹介事業をのぞき計画どおり実施したことが報告された。特に芸振文化事業では平成23年2月19日(土)『県出身真打競演 落語寄席』では会場のiichikoグランシアタに1,650の観客を集め大成功を収めた。今年度から実施予定であった「演奏者等紹介事業」は23年度に予定のデータベース構築事業と絡んでホームページを刷新と併せて実施するため事業を延期した。

22年度決算では、予算計上していなかった公課費として71,000円を支出した。これは芸振文化事業の収益があがり、収益事業となったためである。流動資産の部2,367,572円には未収金(未収会費)が含まれ、退会などで納入がないと雑損(3年を超えた未収会費の会計上の処理)となる。佐藤教明代表監事から「会計書類等について特に指摘することはない。今回発生している公課費についてはなぜ税金を払わねばならないのか?という疑問も起こるだろうが、税金を多く払うくらいでなければ安定した経営とは言えない。また、資産の部に未収金があるが、これは入って来なければ資産にはならない。会員の皆さんには会費納入を速やかに行って事務局の活動を助けるようお願いしたい。」との指摘をいただいた。



次いで第3号議案平成23年度事業計画案及び平成23年度予算案では、ほぼ例年通りの事業実施を予定していること、国の緊急雇用創出事業を利用してホームページの刷新を図ることを提案した。予算は繰越金は保留、収入予算額に合わせた支出予定をたてることとして承認された。

芸振が平成26年に設立50周年を迎えるにあたって、大分県美術協会も同年に50周年を迎えることから記念事業の共催の申し出があった。財政的にも厳しいが、芸振は式典・祝賀会の開催、記念誌の発行、記念事業の実施を検討している。大分県美術協会とは共催、協力できる部分は協力することが提案・承認された。さらに、23年度も役員は無報酬とすることが提案・承認され、議事は全て終了した。議事の終了後、芸振の表彰(感謝状)の制度について紹介した。



最後に東日本大震災にあたり、芸術文化活動に関わる方々への義援金を3年を目処に募っていくことに協力をお願いした。

平成22年度芸振へご寄附をいただいた国際ソロプチミストの大分ー府内 様・帆足隆哉 様のご紹介とお礼を述べた。

総会の審議・報告が終了後、希望者が参加する会員交流会を同会場で行った。

● 評 議 委 員 会 報 告 ●

8月23日(火)にアートプラザにて開催された。①平成23年度事業、②芸振文化事業、③芸振50周年事業等について、報告と検討を行った。

■評議員会報告：8月23日(火) 10:00～12:00 アートプラザ

平成23年度第1回評議員会を開催。評議員24名、理事12名が出席。議長は猪俣吞童氏（大分県傘川柳連合会）、下記の議題に沿って会を進めた。□内は協議内容。

- (1) 平成23年度事業について…… 文化キャラバンの公演団体について
- (2) 芸振文化事業について……… 平成24年度に「星野富弘展」を実施する。そのため、23年度はその準備期間とする。23年度は実施しない。→詳しくはP2
- (3) 芸振50周年事業のとりくみ……
- ・平成26年の芸振設立50周年にあたり、式典、記念誌、記念事業を柱に検討中。同年第50回を迎える大分県美術展の記念展は共催。
 - ・会員実施の行事には冠をつける方向で検討中。
- (4) お知らせ………平成25年「第1回九州・沖縄伝統芸能フェスタ」開催予定。

評 議 員 名 簿 [2011.8.23]

1 大分県歌人クラブ 業務理事・事務局長	太田 宅美	17 大分県吟剣詩舞道総連盟 常務理事・事務局長	北村 悦豊
2 大分県俳句連盟 事務局会計	松村 勝美	18 大分交響楽団 理事長	志賀佳数雄
3 大分県傘川柳連合会 会長	泉 談亭	19 大分県新舞踊連盟 事務局長	御沓 幸正
4 大分県連句協会 事務局長	南雲 玉江	20 大分県日本舞踊連盟 副会長	花柳笹良志
5 大分県俳画協会 会長	足立 佐与	21 大分県民踊連盟 副会長	伊坂 晴美
6 大分県美術協会日洋彫工部会 日本画部長	鈴木 忠実	22 おおいた洋舞連盟 理事・事務局長	後藤 智江
7 大分県美術協会書道部会 会長	山本 雅風	23 おおいた演劇の会 事務局員	久原 淳子
8 大分県美術協会写真部会 事務局長	伊東南海男	24 大分県児童文化研究会 会長	油布 玲二
9 NPO法人大分県書写書道指導者連合会 会長	樋口 義行	25 能を楽しむ会 代表	谷村 育子
10 大分県音楽協会 事務局長	脇谷 直樹	26 華道家元池坊大分支部 支部長	神志那弘枝
11 大分県合唱連盟 理事長	宮本 修	27 日本フラワーデザイナー協会大分県支部 支部長	野田 淳一
12 大分県三曲協会 副会長・事務局長	三代 朱山	28 大分県高等学校文化連盟 理事長	河野多加志
13 大分県吹奏楽連盟 副理事長	岡村 隆夫	29 大分県中学校文化連盟 事務局長	橋詰 正三
14 大分県太鼓連合 会長	野依 修見	30 豊後大野市文化連盟協議会 会長	足立 武徳
15 大分県県民オペラ協会 会員	小野 美紀	31 前運営協議会会長	猪俣 吞童
16 大分県民謡連盟 事務局長	竹永 敏郎	32 前運営協議会副会長	河野 公記

第13回 文化を語る夕べ

12月13日(火)に全日空ホテル5F孔雀の間に開催された「文化を語る夕べ」は第26回を迎えました。大分県知事の広瀬氏を始め7名の来賓者を含め235名の参加となりました。グループUNOのウエルカムコンサート、大分県民謡研究会萬謡會の松井猛氏による「サル社会からみえる人間社会」との題目での芸振講話に引き続き、大分県芸術文化振興会議の渡辺恭英理事長と大分県知事の広瀬勝貞氏よりご挨拶をいただきました。2時間にわたり会員相互や県内芸術文化関係者との交流を深め、盛況のうちに終えました。年末の慌ただしい折、ご参加いただきありがとうございました。

平成23年度 会員の受賞（彰）者

文部科学大臣表彰	地域文化功労者	大分県民謡研究会萬謡會
大分合同新聞文化賞	芸術文化	花柳登己忠
大分合同新聞文化賞	学術	豊田 寛三
大分県芸術文化振興会議感謝状		伊坂 香里



新 入 会 員 紹 介

・団体会員

団体名	部門	代表者	事務局長	事務局所在地
国東半島あいルネサンス連盟	総合	魚返敬之	岩光 侃	国東市武蔵町麻田419-1 事務局長方

・個人会員 渋谷忠章、花柳登己忠（舞踊）、安東峰子（音楽）※入会順

退 会（申し出によるもの）

・団体会員 一般社団法人 二科会写真部 大分支部、おおいた高嶺会

・個人会員 若柳寿和、佐藤信一

お 知 ら せ

◎会費の納入はお済みでしょうか？

平成23年度も残り2ヶ月となり、会計の締めとなりました。

会費は年度の開始から1ヶ月（4月1日～30日）で納付いただくようお願いをしています。未収会費のある会員には年度末に別途「会費未納のお知らせ」をお送りしますが、なるべくお知らせ前に納入を済ませていただきますようお願いします。

なお、退会される場合は必ず文書（FAX可）で下記事務局までお知らせ下さい。お知らせがない限り、会費の請求が発生しますので、ご注意ください。

どうぞよろしくお願いいたします。

◎芸術補助金事業の実績報告書

提出期限は事業後1ヶ月内となっております。対象会員の方はご確認いただき期日内の提出をお願いいたします。

◎平成23年度事業、データベース作成・ホームページの刷新のために、事務局に山口

るり子さん（4月～）、佐藤寛子さん（6月～）が加わりました。

11月17日付けで事務局の橋本奈穂さんは退職いたしました。

※忘れ物をお預かりしております。

黒いストール（「文化を語る夕べ」）を事務局にて保管しております。お心当たりのある方はお知らせ下さい。

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0035 大分市中央町3丁目6-13 岩尾文具別館2階

TEL：097-536-0522 FAX：097-536-6188 E-mail：info@geishin.jp URL：http://www.geishin.jp/